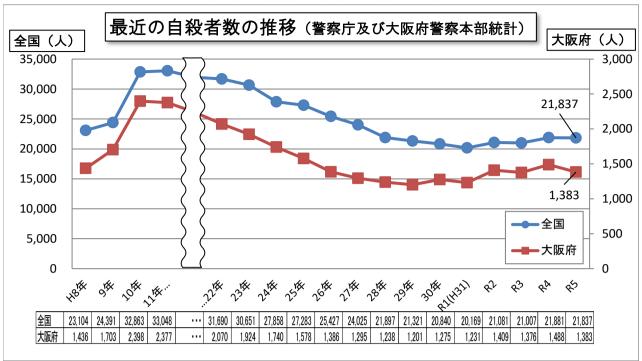
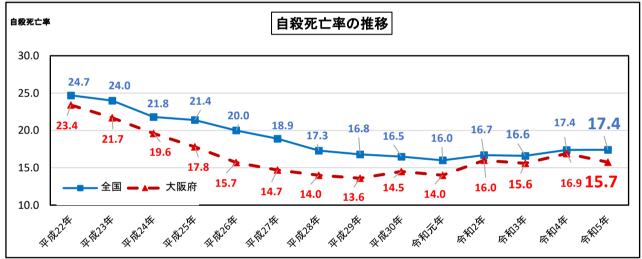
## 大阪府の自殺の概要<令和5年>





出典:厚生労働省自殺対策推進室作成地域における自殺の基礎資料 発見日・発見地 ※警察庁の自殺統計

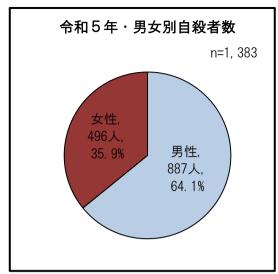
全国の自殺者数は、平成10年以降年間3万人を超えて高止まりの状態でしたが、平成22年から減少傾向となり、平成24年から継続して3万人を下回っています。

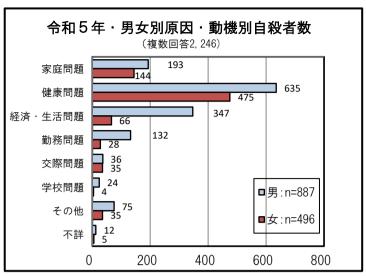
大阪府の自殺者数も全国と同様に推移し、平成10年に2千人を超え、一気に3割以上の増加後、若干の変動はあるものの横ばい状態で推移していましたが、平成23年より減少傾向となり、2千人を下回りました。

令和2年は新型コロナウイルス感染症の拡大といった要素があり、全国の自殺者数は11年ぶりに増加しました。同様に大阪府でも平成30年以降横ばい状態であった自殺者数が、令和2年に増加に転じました。令和3年は前年より減少しましたが令和4年は再び増加に転じ令和2年より多い状況でした。

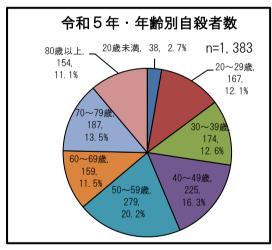
令和5年は前年より105人減少して1,383人となり、1日に約4人の方が亡くなられている 状況です。

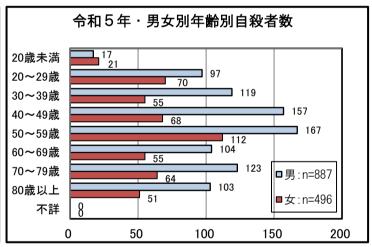
自殺死亡率(人口10万人当たりの自殺者数)は、15.7となっています。





男女別自殺者数は、男性が887人 (64.1%)、女性が496人(35.9%) となっており、依然として男性が女性 の2倍に近い数となっています。 令和4年からは、家族の証言等から原因・動機 を4項目まで計上することが可能になりました。 男性、女性ともに、「健康問題」「経済・生活問 題」「家庭問題」が上位を占めています。



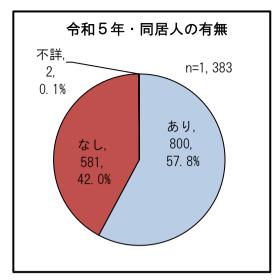


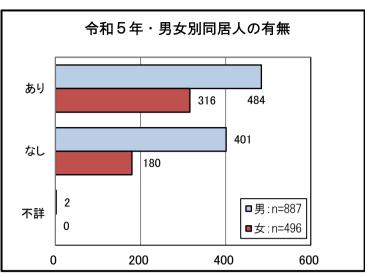
年齢別自殺者数は、「50~59歳」が279人(20.2%)と最も多く、次いで「40~49歳」が225人(16.3%)、「70~79歳」が187(13.5%)と続いています。

また、39歳以下の若年層の自殺者数は379人(27.4%)で、全体の約4分の1を占めています。

男女別に年齢別自殺者数を比較すると、男性は 「50~59歳」167人(18.8%)が最も多く、「40~ 49歳」157人(17.7%)が続いています。

女性は「50~59歳」112人(22.6%)が最も多く、 次いで「20~29歳」70人(14.1%)となっていま す。

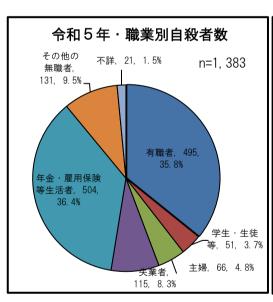


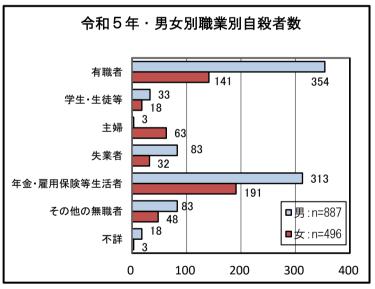


同居人の有無では、「同居人あり」が800人(57.8%)、「同居人なし」が581人(42.0%)となっており、「同居人あり」の方が約6割と多くなっています。

男女別の同居人の有無では、男性484人(54.6%) 女性316人(63.7%)が「同居人あり」で、男性401人 (45.2%)、女性180人(36.3%)が「同居人なし」で した。

女性の方が「同居人あり」の割合が多くなっています。

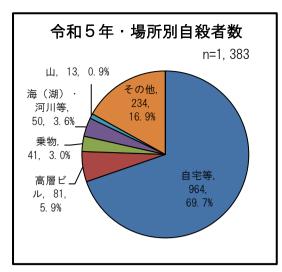


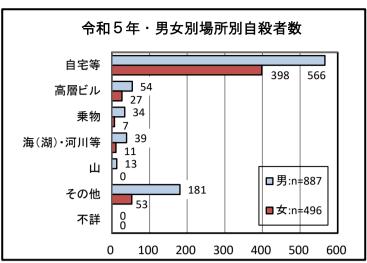


職業別自殺者数の割合は、「年金・雇用保険等生活者」が504人 (36.4%)と最も多く、次いで「有職者」が495人(35.8%)となっています。

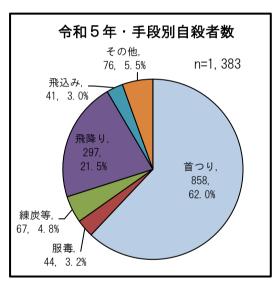
「学生・生徒等」は、51人 (3.7%)です。 男女別に職業別自殺者数をみると、男性は「有職者」が354人(39.9%)で最も多く、次いで「年金・雇用保険等生活者」が313人(35.3%)となっています。

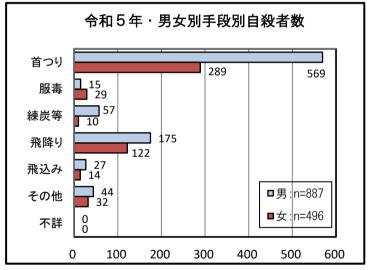
女性は、「年金・雇用保険等生活者」が191人 (38.5%)で最も多く、「有職者」が141人 (28.4%)で続いています。



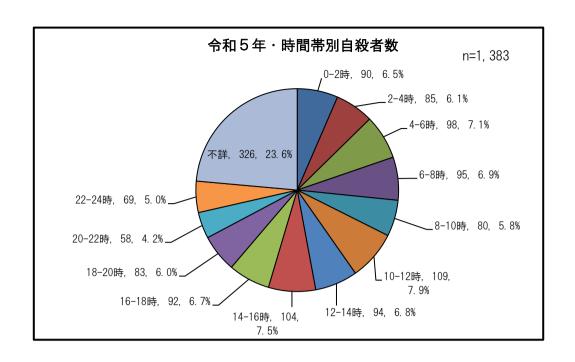


場所別自殺者数では、「自宅等」 が964人(69.7%)と約7割を占めて います。次いで「高層ビル」が81人 (5.9%)となっています。 男女別に場所別自殺者数をみると、男女ともに「自宅等」が多くなっており、次いで「高層ビル」となっています。「自宅等」が男性566人(63.9%)で、女性398人(80.2%)、「高層ビル」が男性54人(6.1%)で、女性27人(5.4%)です。



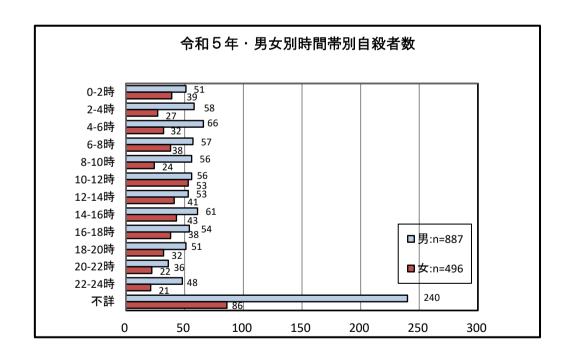


手段別自殺者数では「首つり」が 858人(62.0%)と6割を占めてい ます。次いで「飛降り」が297人 (21.5%)となっています。 男女別に手段別自殺者数をみると、「首つり」が 男女ともに多く、次いで「飛降り」が多くなってい ます。「首つり」は男性569人(64.1%)で、女性 289人(58.3%)、「飛降り」は男性175人(19.7%) で、女性122人(24.6%)です。



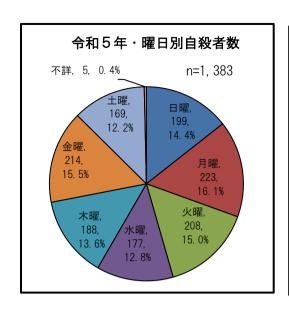
時間帯別自殺者数の割合では、「不詳」以外で最も多い時間帯は「10~12時」の109人(7.9%)、次いで「14時~16時」の104人(7.5%)となっています。

少ない時間帯は「20時~22時」58人(4.2%)となっています。

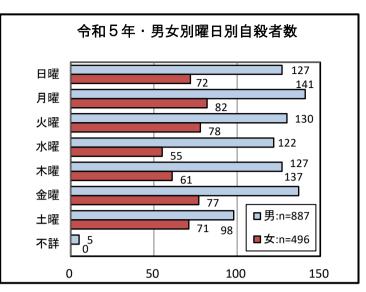


男女別の時間帯別自殺者数については、男性では「4~6時」が66人 (7.4%)、女性では「10時~12時」が53人(10.7%)でそれぞれ最も多く なっています。

「20時~24時」は男女ともに自殺者数の少ない時間帯となっています。

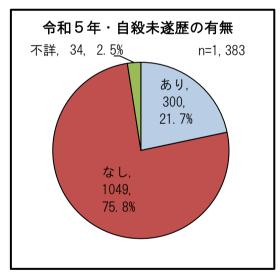


曜日別自殺者数の割合は、「月曜日」の223人(16.1%)が最も多く、「土曜日」の169人(12.2%)が少なくなっています。

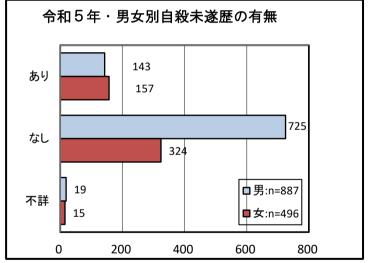


男女別の曜日別自殺者数では、男性は「月曜日」 の141人(15.9%)が最も多く、「金曜日」の137人 (15.4%)が続いています。

女性も「月曜日」の82人(16.5%)が最も多く、「火曜日」の78人(15.7%)が続いています。



自殺未遂歴の有無では、「あり」は300人(21.7%)で全体の5分の1を占めています。「なし」は1,049人(75.8%)となっています。



男女別に自殺未遂歴の有無をみると、男性の自殺未遂歴「あり」の割合は143人(16.1%)、女性の自殺未遂歴「あり」の割合は157人(31.7%)となっており、女性の自殺未遂歴「あり」の割合が男性の約2倍多くなっています。